

長期ビジョンにおける 取組の内容について(後半)

第6回 「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040」懇談会
令和4年(2022年)2月7日



1 計画の全体像

(仮称) はちおうじ未来デザイン2040

基本構想

「まちづくりの基本理念」

人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子

価値の浸透

年限なし

6つの「都市像（私たちが目指すまち）」

目的

都市像の実現

「基本施策」

長期ビジョン（基本計画）

みんなで目指す
2040年の姿

「都市像」の実現に向けたターニングポイントである2040年までに実現を目指す姿

（“市民の暮らしや理想の状態”で表現）

達成に向けて

施策

「基本施策」に基づく基本的な施策展開

「変革のキーワード」

地域経営の変革に向け、社会や行政のあり方を再構築する取組

デジタル・トランス
フォーメーション

カーボンニュートラル

「重点テーマ及び取組方針」

「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向け、「施策」の一部を重点化

手段

「未来を拓く
原動力」

地域自治

共創

「施策」を加速化

8か年計画

2 重点テーマ及び取組方針

「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向け、令和12年度（2030年度）までに重点的に取り組む内容を定めました。

重点テーマ① 未来の主役づくり

重点テーマ② 未来へのつながりづくり

重点テーマ③ 未来に続く都市づくり

2 重点テーマ及び取組方針

重点テーマ② 未来へのつながりづくり

～テーマに込めた思い～

現在、地域課題は多様化・複合化してきており、解決のためには今まで以上にきめ細かい対応が求められることから、地域共生社会実現に向けた地域づくりの重要性はさらに高まっています。また、人口減少を想定した中では、市民の郷土愛を育み、本市に住み続けてもらうことに加え、本市に魅力を感じ、地域の人々と関わり地域のために動こうとする関係人口や、本市を訪問先や居住地として選択をする交流人口を増加させていく必要があります。

一方で、社会的課題への対応を捉えた場合には、様々な関係機関との連携を強化・創出し、シナジー効果を最大限高めていくことが重要です。

地域の魅力を活かして進める地域づくりの推進により、多様化・複合化した地域課題の解決を図るとともに、未来へつなぐ地域の活性化を図ります。

2 重点テーマ及び取組方針

重点テーマ② 未来へのつながりづくり

【取組方針】

- ア 多様かつ複合化した地域課題の解決に向け、市民力・地域力をもとにして、地域が主体的に支えあえる「地域づくり」を推進します。
- イ 日本遺産をきっかけとして、桑都文化を磨き上げ、地域活動や地域の産業・経済の活性化を図るほか、豊富な資源を活用した地域主体の観光まちづくりを推進します。
- ウ 豊かな産業資源の優位性や学園都市としての知の集積を活かし、産学官民連携で革新的なイノベーションによる価値創造を目指します。

2 重点テーマ及び取組方針

重点テーマ③ 未来に続く都市づくり

～テーマに込めた思い～

本市は、豊かな自然環境、地理的優位性と交通の利便性に恵まれ、大学や産業が集積する首都圏西部の中核都市として発展を続けてきました。

一方で、東日本大震災を教訓とする防災意識の高まりや人口減少・少子高齢化の進行、地球規模での環境問題の深刻化など、社会情勢や本市を取り巻く都市環境は、大きな転換期に直面しています。

市民の安全・安心につながる強靱なまちづくりを推進するとともに、都市の快適性の向上、地域経済発展に資する産業振興、環境への配慮・自然との調和に向け、ハードとソフトの両面からこれまで以上に注力することで、次世代に引き継いでいくことのできる、未来に続く持続可能な都市を形成していきます。

2 重点テーマ及び取組方針

重点テーマ③ 未来に続く都市づくり

【取組方針】

- ア 自助・互助・共助の連携強化を図るとともに、自然や先端技術を活用し、災害の脅威から市民の命を守る強靱なまちづくりを推進します。
- イ にぎわいと活力を生み出すため、新産業分野の事業創出や既存産業への支援を行うほか、公共交通の充実とともにウォーカブルなまちづくりを推進します。
- ウ 自然環境と都市機能が調和した都市の実現に向け、再生可能エネルギーの導入推進・普及など持続力を生み出す取組を推進します。